

令和6年度 第2回野辺地警察署協議会 議事録

1 開催日時

令和6年11月27日(水) 9:55 ~ 11:10

2 開催場所

野辺地警察署 訓受室

3 出席者

- 協議会委員 4人
野坂幸子会長、杉山徹副会長、川畑和光委員、葛西奈栄子委員
- 警察署 7人
署長、次長、刑事生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、警務会計課長代理(警務担当)

4 開催内容

(1) 開会

(2) 署長挨拶

(3) 議事

- ◎ 各課の示す取組課題について、第1回会議以降の警察署の業務の状況、以後の業務予定や取組事項

☆ 前回挙げた委員の意見に対する警察署の対応

ア 警務会計課

取組課題『警察力の最大化に向けた組織づくりの推進』

◎ 働きやすい職場環境の構築のための施策

- 下半期警察署プロポーザル制度の実施(拝命後5年未満の若手中心)
- 女性職員による女性活躍推進検討会の実施
- 烏帽子岳登山による絆の醸成

◎ 将来を担う若手警察官の育成

- 警察官採用募集活動の推進
 - ・ イベント会場において、被害者支援や特殊詐欺被害防止広報に併せて採用募集活動を実施
 - ・ 庁舎見学に訪れた小学生への警察車両や装備品等の説明により、魅力を持たせ、将来の採用希望者を確保
 - ・ 関係団体との交通街頭活動など、各種活動を通じた募集活動を実施
- 教養訓練の実施
 - ・ 部外講師による地域の歴史や今後の展望に係る講話
 - ・ 自動車安全運転センターでの研修受講者による還元教養
 - ・ 術科訓練等

☆ 委員の意見に対する警察署の対応

- 『いいことをした人を褒める』ことによる防犯、交通事故の防止について年1回協力者表彰や都度の感謝状贈呈、関係団体と連携した表彰を実施している。
- 広報で配布したチラシ等を見たい。
熊被害防止、詐欺防止チラシのほか、関係団体の協力を得て物品も配付している。

イ 刑事生活安全課

取組課題『詐欺被害抑止活動の推進』

- ◎ 特殊詐欺事件の発生状況
管内で10月までに1件発生、11月に入りさらに2件発生
- ◎ SNS型投資・ロマンス詐欺の発生状況
管内で1件発生
- ◎ 抑止活動の状況
 - 各町村でのイベント時に広報活動を実施
 - 外郭団体と連携し、SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止広報用物品を配付
 - パトロールでのコンビニ等への立寄り警戒
- ◎ その他の犯罪抑止活動
ドラッグストアに対する、少年への電子たばこ等販売禁止を以来

☆ 委員の意見に対する警察署の対応

- 薬物乱用防止について、販売業者に警察からも話をしてほしい。

違法薬物の入口となり得る蒸気たばこの少年への販売禁止について指導した。

- 高齢者の限らない詐欺被害防止広報について
高齢者の家族はもちろんであるが、最近では高齢者以外の被害者も増えており、すべての世代に対しての広報を推進している。
- ◎ 建造物侵入・窃盗被疑事件の検挙について

ウ 地域課

取組課題『地域住民の声に応える活動の推進』

- ◎ 新人警察官の配置について（委員への紹介）
- ◎ 活動状況
 - 関係機関と合同で事件事故被害防止広報を実施
 - 交通事故防止のための反射材貼付活動を実施
 - 隣接警察署と同一路線（国道）における同時時間帯の警戒活動を実施
 - 山岳遭難防止協議会での山岳遭難救助訓練の実施
 - 地域課員のみでの県下柔道大会優勝

エ 交通課

取組課題『交通死亡事故の抑止～命とルールを守る～』

- ◎ 管内の交通事故発生状況
 - 管内では人身事故発生件数、死傷者数は減少
 - 国道上での発生が多く、抑止活動を継続推進していく。
- ◎ 主な交通事故抑止対策
 - 交通安全横浜町大会
講話等による交通安全意識の高揚
 - 早め点灯ちょうちん行列
早め点灯と反射材着用を呼び掛け
 - 自転車ヘルメット贈呈式
関係団体により、管内住民の中から100人に贈呈
 - 交通安全シルバー先生
県下で廃止となったが、独自に復活させ高齢者に対する交通事故抑止活動を推進

☆ 委員の意見に対する警察署の対応

- 横浜町国道279号の消えかかった外側線について
道路管理者に申入れ済み
- 道路交通法改正による自転車の違反の罰則強化について、小中学生にも教育してほしい。
各段階での交通安全教育の場で実施しており、今後も機会を捉えて推進していく。
- 電車利用の高校生の自転車ヘルメットの使用とヘルメットを置く場所がないことによる着用率の低迷について
野辺地町内2高校に調査した結果、電車と自転車を併用して通学する生徒の数が少ない等の状況が見られたが、ヘルメットの保管場所の設置について今後も継続して検討する。

オ 警備課

取組課題『緊急事態等発生時における警備諸対策の推進』

- ◎ 災害対策
 - 管内の災害発生状況
建物被害5件、人的被害なし（令和6年10月末現在）
 - 六ヶ所村総合防災訓練への参加
 - 東北電力と連携した代替施設移転訓練の実施
- ◎ ソフトターゲット対策
 - 警備が手薄な祭り、イベント等を狙ったテロの防止
 - のへじ祇園まつり、2024たのしむべ！フェスティバルで、車両突入防止や不審物検索を実施
 - 今後も主催者等と連携して実施
- ◎ 外国人技能実習生対応
 - 外国人技能実習生は増加傾向
 - 生活ルール、在留カード関係、交通ルール等、役場や他課と連携して講話を実施し、事件事故の防止を図っている。

(4) 質疑応答、意見等

- 烏帽子岳登山の話があったが、地元とのことを知った上で仕事をしてもらうのはとて

もよいと思う。

- 12月の横浜町でイベントについて、人が多く集まるので駐在所にも対応を依頼した。
会場となる道の駅よこはま付近の歩道整備について、これまで話していた縦貫道開通時の渋滞等対策に加えて、今後要望したい。
- 地域住民からの要望であり、本署の方でも把握していると思うので、計画をよく聞いて本署でもしっかり対応してほしい。
- 新人警察官の今後の活躍に期待したい。
- 警察でもいろいろやっていると思うが、詐欺被害がなくなると感じているし、企業なども呼びかけをしているようではあるが、反射材もまだまだ普及していないと感じている。
六ヶ所村は、県外から入っている人や車が多いほか、多額窃盗事件もあり、不審な人に警戒する意識を持っている。
- 銅板の窃盗事件に関して、野辺地警察署管内でも、多くの太陽光発電施設があるが、そこでの銅線の窃盗事件も多く発生していると聞いている。対策は取っているのか。
(回答) 全国的に当該事件が多発している。対策としての防犯カメラの設置もなかなか進んではいないが、現状では、施設設置状況の把握と警戒活動を中心に対応している。
- パトカーでの巡回が一番の抑止になると考えている。
- 六ヶ所村内では、長芋栽培に伴う野焼きについて非常に厳しいのだが、他の町村では野焼きが多く見られる。
場所によって警察の対応は違うのか。農家から疑問の声を聞く。
(回答) 警察は法律に基づいて対応するので場所によって対応が変わることはなく、町村役場ごとに対応が異なっている。
警察としては、火災防止の観点からも、野焼きを取り締まっている。
- 詐欺被害防止広報用物品は全世代に配るのか。書かれている投資詐欺やロマンス詐欺などは縁遠い感じがする。
野辺地でもあり得るということをアピールするなら、方言を使ったり、配り方にも工夫が必要なのではないか。
警察官の寸劇はとてもよい。
人にものを伝えるには、年齢、地域に合った呼びかけや警察署独自の工夫が必要。
表彰は、新聞に小さく載るだけでは何をしたか分からないので広報紙で紹介するとか、反射材も渡すのではなくちゃんと貼ってやるとか、効果的に工夫して活動してほしい。
また、横浜町長選挙もあるが、選挙におけるSNSの影響など、時代の変化にも対応していかなければならない。
(全般補足) 各種活動の効果ということであれば、ヘルメットのプレゼントについては、渡した方のケガを防ぐだけでなく、かぶるのが当たり前になるように、浸透させたいとの狙いも持って行っている。
また、現状に応じた対策ということでは、今後経営統合が予想される金融機関への働きかけで、統合に伴う詐欺被害の抑止が図られている。
反射材の普及についても、平素行っている巡回連絡で高齢者宅を訪問した際は靴に直接反射材を貼付してくるといった活動もしている。
いろいろ検討して工夫して各種活動を行っているが、意見や要望で気づくこともあるので、今後もよろしくお願ひしたい。

(5) 署長総括

(6) 閉会

5 警察活動に対する理解を深めるための視察

警備部機動隊に配備されるレスキュー車を視察

【開催状況】

